

## 令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	9. 教育費	大事業	7. 児童生徒教育相談事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
経常	単独	計画	0	0	19,918	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	-
							基本施策7	心の教育の推進	-
									-
							施策4	一人一人のニーズにあった教育を推進します	-
								平成28年度	-
								平成29年度	-
								平成30年度	-
								平成31年度	-
								令和2年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		22,855

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									22,855

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・学校教育相談員による相談活動や適応指導教室の運営を行います。</p> <p>・心の教育相談員による相談活動を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・不登校、いじめ、虐待への対応など、学校が抱える課題について、心の教育相談員を配置し、早期発見・早期解決を目指します。</p> <p>・学校教育相談員による相談活動や適応指導教室の運営を通して児童生徒の「学校復帰」、また登校できない状況の中で「居場所の提供」「自主性・自発性の育成」を目指します。</p> <p>・学校教育相談員による発達相談を通して、発達に課題のある児童生徒</p>	<p>(事業の効果) ・電話相談、面接相談を継続することにより、児童生徒の不適応に対して早期発見・早期解決を行うことができます。</p> <p>・不登校状態の児童生徒が適応指導教室に通級することにより、学校復帰への支援になります。</p> <p>・発達の相談を行うことにより、保護者の不安解消や、発達に課題のある児童生徒のより良い成長につながります。</p> <p>・心の教育相談員を配置することで、児童の諸問題の未然防止につなげ</p>
<p>(事業実施上の課題点) ・不登校等児童生徒の増加により、適応指導教室の充実や学校教育相談員への要望が増加しています。</p> <p>・いじめ問題等の生徒指導上の課題に対応するため、スクールカウンセラーが配置されていない小学校を中心に、心の教育相談員の配置について強い要望があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項) ・相談件数の増加に伴い、出張費及び適応指導教室の消耗品費を増額しています。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	18,591	14,400	4,191
03	2,241	0	2,241
08	1,893	1,610	283
10	130	130	0

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源										
						差引一般財源	0	22,855	0	22,855